

2022年7月29日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社  
SMFL 未来パートナーズ株式会社  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
東芝ネクストクラフトベルケ株式会社

### FIP 制度の利用を見ずえた協業開始について

～福岡県の太陽光発電所において FIT から FIP への切替申請を開始～

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橋 正喜、以下「SMFL」）の戦略子会社、SMFL 未来パートナーズ株式会社（代表取締役社長：寺田 達朗、以下「SMFL 未来パートナーズ」）と、東芝エネルギーシステムズ株式会社（代表取締役社長：四柳 端、以下「東芝 ESS」）は、再生可能エネルギーのさらなる普及・拡大のために FIP（Feed-in Premium）制度の利用を見ずえて協業していくことに合意しました。両社による取り組みの第 1 弾として、SMFL 未来パートナーズが保有し FIT 制度（固定価格買取制度）下で運営している 2 箇所の太陽光発電所について、FIP 制度への切り替え手続きを開始しました。また、東芝ネクストクラフトベルケ株式会社（代表取締役社長：新貝 英己、以下「TNK」）は、同発電所で安定的な業務を行うためのシステムを提供します。

FIP 制度は、再生可能エネルギーを主力電源とすることを目的に FIT 制度に代わる制度として、資源エネルギー庁が推進しているものです。2022 年 4 月から運用が始まり、発電事業者には発電計画と発電実績を一致させる責務（以下「計画値同時同量」）が新たに課されます。また、売電先を発電事業者が自ら選ぶ必要があるなど、FIT 制度から大きく運用が変わります。SMFL 未来パートナーズと東芝 ESS は、今回の取り組みを通じ、FIP 制度のリスク・効果検証を早期に実施することで、FIP 制度下における新たな発電所開発を協働して進めてまいります。

今回 FIP 制度へ切り替えを予定する発電所は、SMFL 未来パートナーズが福岡県で保有する 2 箇所で、2022 年 9 月からの FIP 制度適用開始を目指しています。発電した電力は東芝 ESS が全量買い取り、卸電力取引市場または需要家に相対取引で売電します。また、東芝 ESS は TNK と連携し、計画値同時同量業務を SMFL 未来パートナーズに代わって行います。

SMFL グループは今回の取り組みを通じ、FIP 制度下における再生可能エネルギー事業への出資やファイナンスを拡大していく体制を構築し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

東芝グループはこれまでエネルギー機器メーカーとして培ってきたノウハウにデジタル技術を組み合わせることで、付加価値の高いサービスを提供し、カーボンニュートラル社会の実現を目指していくと共に、再エネアグリゲーション事業を通じて、非 FIT の再生可能エネルギーを活用した安定的かつ効率的な電力システムの実現に貢献していきます。

【発電所現地写真】

古賀ソーラーパークⅡ（福岡県糟屋郡新宮町）



青柳ソーラーパークⅡ（福岡県古賀市）



以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社  
SMFL みらいパートナーズ株式会社  
東芝エネルギーシステムズ株式会社

広報 IR 部  
環境エネルギー開発部  
経営企画部

山本 TEL 03-5219-6334  
須貝 TEL 03-6695-8190  
濱口 TEL 044-576-4707